

平成18年度実績評価事務事業進行管理表

651-358

事務事業名	地域自治(まちづくり委員会)連絡会				財務会計上の位置付け	会計	款	項	目	細目	細々目	19予算額(千円)	
部等名	水道環境部	課等名	環境課		包含する細々目	1	4	2	1	11	1		
政策	5人の営みと自然・環境が調和したまちづくり												
施策	56 廃棄物の減量と適正処理												
実施区分	継続	会計	一般会計	環境調整会議									
		事業期間		年度～		年度						関連計画 条例等	

【Do】(1)この事務事業は次の目的を達成することを目指します。

目的の記述	対象(人や物、自然資源など)	対象の大きさを表す対象指標名と単位	対象指標の数値				
	各地域自治協議会環境部会	飯田市の人口(人) (H18.10.1推計人口)	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度		23年度以前に終了は終了年度とする	
			107844	107000			
		環境部会数	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度			
			20				
	意図(成果は何か、対象をどうかえるか)	成果達成度を表す成果指標名と算定式・単位	成果指標の数値(実績・目標)				
	ごみを減らす	ごみ収集量	18目標	25500	最終目標	25100	
			18実績	25198	19目標	25420	↑
			23目標	25100	23実績		最終目標達成年度
			18目標		最終目標		
		18実績		19目標		↑	
		23目標		23実績		最終目標達成年度	

(2)意図を達成するために以下のことを取り組みます。

手段の記述	事業の全体概要(補足説明)	具体的活動内容(やり方、手順、詳細)	活動量を表す名称・単位	活動量の値
	環境部会活動を推進する <参考> 細々目名:環境美化推進費 ・環境部会を通じてごみ集積所の管理運営を行うとともに、市民の協力で環境衛生を推進する各事業を行う。	18年度の実績 ・ごみ集積所の管理 ・春・秋のごみゼロ運動の実施 ・全市一斉河川清掃の実施 ・井戸水の水質検査への協力 ・紙リサイクル工場、美化活動先進地視察研修の実施 ・各地区美化活動、視察研修、ブロック研修会への補助	・ごみ集積所数 ・ごみゼロ運動実施回数 ・河川清掃参加数 ・水質検査申込数 ・研修会実施数	2938 36 23 297
	19年度計画	・ごみ集積所の管理 ・春・秋のごみゼロ運動の実施 ・全市一斉河川清掃の実施 ・井戸水の水質検査への協力 ・リサイクル工場、美化活動先進地視察研修の実施 ・各地区美化活動、視察研修、ブロック研修会への補助	・ごみ集積所数 ・ごみゼロ運動実施回数 ・河川清掃参加数 ・水質検査申込数 ・研修会実施数	2958 36 23 297

<金額の単位:千円>		18決算額(見込)	19予算額(当初)
事業費	特定財源		
	国庫支出金		
	県支出金		
	起債		
	その他	10,845	10,072
一般財源	0		
事業費計(A)	10,845	10,072	
人件費	正規職員所要時間	18年度 1,040	19年度 1,040
	臨時職員等所要時間	260	260
	人件費計(B)	3,999	3,999
	トータルコストA+B	14,844	14,071

特定財源内訳や補足事項	その他(ごみ処理手数料)
-------------	--------------

(3)この事業目的の達成は、次の上位(施策や主体の役割)目的の達成に結びつきます。

目的の記述	結果 この事務事業の施策(基本事業)の目的	上位成果指標(施策又はムトス指標)と単位	上位成果指標の数値			
	・ごみ集積所の管理を通じて、ごみの適正処理を推進する。 ・ごみゼロ運動、地域美化活動により不法投棄ない街にする。	再資源化率	現状値		19実績	
			20実績		21実績	
			22実績		23目標	
	不法投棄の発生件数	現状値		19実績		
		20実績		21実績		
22実績			23目標			

<p><b>この事業を開始したきっかけ</b></p> <p>・環境美化活動、衛生事業の推進母体として組織されてきた。その事業活動について交付されている。</p>	<p><b>事業を取り巻く状況の変化</b></p> <p>・地域自治組織の成立とともに、各地区の環境衛生組合の組織が変わる。それに伴い、連合会の役割が変わってくる。</p>	<p><b>事業に対する市民や議会の意見</b></p> <p>・事業の継続を望む声も有る。 ・地域自治組織成立とともに環境衛生組合は解散されることになるが、同様な事業母体を望む声がある。</p>
---	---	--

**【See】18年度の振り返り**

目的 妥当性 評価	この事業の意図の達成が、結果(上位目的)に結びついていますか？	<p>(評価) <b>結びつく</b> (その理由)</p> <p>・ごみ集積所を適正に管理することによりごみ分別の徹底が図られ減量に結びつく。</p>	有効性 評価	成果をさらに向上させる余地はありますか？	<p>(評価) <b>余地がある</b> (その理由)</p> <p>・地域自治組織の発足に伴い、地域独自の活動が、ごみの適正処理に結びつく。</p>
	対象の見直し、拡大、縮小の必要性はありますか？	<p>(評価) <b>必要性がある</b> (その理由)</p> <p>・地域自治組織の中で、地域独自の活動が期待される。</p>		廃止・休止した場合の影響はありますか？	<p>(評価) <b>影響あり</b> (その理由)</p> <p>・ごみの適正処理は、ごみ減量、不法投棄防止につながる。</p>
	意図の見直しの必要性はありますか？	<p>(評価) <b>必要性がない</b> (その理由)</p> <p>・ごみ集積所の管理、ごみ分別の徹底によりごみの減量につながり意図することに変わりはない。</p>		他に類似事業はありますか。また統合の可能性はありますか(市以外の取組も含む)？	<p>(評価) <b>統合不可能</b> (類似事業名、理由)</p> <p>・ごみ集積所の管理を全て市が行うことは不可能である。</p>
	市が関与する必要性はありますか？(市が税金を投入すべき事業ですか)	<p>(評価) <b>必要ある</b> (その理由)</p> <p>・家庭ごみ処理は、市の業務であり統一ルールでのごみの排出が必要となり、市の関与は必要。</p>		成果を下げずに、事業費や人件費の削減は可能ですか？	<p>(評価) <b>不可能</b> (その理由)</p> <p>・市民ごみの適正処理が徹底できれば削減は可能。</p>
			公平性 評価	受益者は誰ですか？また、負担の是非、程度は妥当ですか？	<p>(評価) <b>妥当である</b> (受益者とその理由)</p> <p>・ごみの適正処理は、市民全員の問題であり妥当である。</p>

**【Plan】改革改善**

<p><b>今後の事業の方向性</b></p> <p><input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的見直し <input type="checkbox"/> 別事業に統合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持</p> <p>実施年度 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> </span></p> <p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright; color: green; font-weight: bold;">具体化</p>	<p style="text-align: center;">何を、いつまでにどうするのかの改革改善案</p> <p>・地域自治組織で活動推進。</p> <hr/> <p>上記の改革改善案を実施する際、想定される課題とその克服方法</p> <p>地域自治組織との連携。</p>
--	--

**【補足事項環境側面】**

(1) 環境影響評価の必要性判断	(2) 必要性な場合の実施事由
(3) どのような点に配慮し事業に取り組みましたか？	

**【指摘事項】**

施策マネジメント会議	
施策評価会議	
第5次基本構想基本計画推進委員会	